

◇学校運営協議会 第2回

○日 時 令和元年11月13日(水)午後6時30分～午後8時00分

○場 所 大阪府立吹田高等学校 会議室(本館2F)

○テーマ ・平成31年度(令和元年度)学校経営計画について
・令和元年度の主な取り組みについて

○出席者(敬称略、委員は50音順)

島田 雅弘	吹田市立片山中学校 校長
土井 実	鳳志会(本校同窓会) 副会長
林 宏昭	関西大学 経済学部 教授
前田 武男	千一地区連合自治会
村田 徹	大阪薫英女学院中学校・高等学校 校長
室田 園子	本校PTA 会長
手島 肇	本校 校長

○事務局

藤井 秀雄(教頭)、井上 薫(事務長)、磯原 健志(首席)、門野 正太(首席)

○議事

- ・学校経営計画について
- ・授業アンケートについて
- ・その他

○主なやりとり

中期目標1. 関係

- ・不明なところでの感触はどうか?
 - A. 生徒会執行部での取り組みとして、役員を補助する生徒を募集実施しており、生徒会活動への参加者を増やす、自主性を育てる事につなげてる。
また、クラブ満足度調査について、今年度は従来より丁寧に分析する予定である。
(加入率40%年間平均)

中期目標2. 関係

- ・キャリア教育でのアンケートは進路先決定後に振り返って、キャリア教育が自分の進路決定に役に立ったか聞けるタイミングで実施した方がいいのでは。
- ・道徳教育の研修内容は?
 - A. 教員間での共有のために実施
 - ・PDCAサイクルの導入
 - ・志学との関係性の留意点
 - ・新科目「公共」との関連

- ・新たな道徳教育に向けて現在の体制は？
 - A. 首席が担当、現在は一人体制だが今後の方向は検討予定。
- ・今後プロジェクトチームなどの体制でどうか。

- ・進学講習、個別講習への移行の課題は？
 - A. 個別対応にするほど自分で取り組む型になるにともない、ヒントを出して考えさせるといったやり取りでマンパワーに頼ることになる点。
聞きやすい先生に聞いてしまうといった片寄りも発生しやすい。
- ・きめ細かい指導していただいて心強い、今後もよろしくお願ひしたい。

- ・進学クラスを変更した影響は？
 - A. 1年生で進学クラス80名希望
2回（春秋）希望調査を実施し、ミスマッチ少なく良い傾向である。

中期目標3.

- ・学校教育自己診断等の集計結果待ちが多く、進捗状況について質問しにくくはある。

中期目標4.

- ・クリーンキャンペーン、がんばってほしい。
- ・生徒が授業内容楽しいと言っている。
勉強の入り方でプロジェクターや聴覚機器の活用などが良いようだ。

- ・ICT導入や1年生からの取り組み評価の積み上げ大学受験に向けて授業の実感はどうか？
 - A. 五感を使わせる手法等で授業の幅が広がっていると感じている。
70周年記念での寄付等も液晶モニターを検討している。

- ・項目5番の授業アンケートの結果を受けて振り返り、数値の高い項目は「工夫している点」、数値の低い項目は「原因の分析と具体的な改善策」について踏み込んでいる点が良い。ここまでできないケース（学校）が多い。
授業アンケートの項目8，9の「生徒意識」をどのようにとらえるか、学校の課題である。

その他

- ・ICT導入において、国庫事業の導入も視野に入れてはどうか。

- ・第2回の学校運営協議会の開催時期は、自己評価に必要なアンケート結果を反映できる時期がいいのでは？

